

(19)日本国特許庁（J P）

(12) 公 開 特 許 公 報（A）

(11)特許出願公開番号

特開平6－345429

(43)公開日 平成6年(1994)12月20日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 1 G 19/02		A		
C 0 8 K 3/22	K A E			
C 0 9 D 5/24	P Q W			
H 0 1 B 1/00		A 7244－5G		
		7244－5G		
審査請求 未請求 請求項の数4 F D （全 7 頁）				

(21)出願番号	特願平5－165929	(71)出願人	000006183 三井金属鉱業株式会社 東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号
(22)出願日	平成5年(1993)6月14日	(72)発明者	林 尚男 山口県下関市彦島迫町5－4－5
		(72)発明者	佐藤 法祐 山口県下関市彦島迫町5－4－14
		(72)発明者	笠原 暢順 埼玉県狭山市水野812－9
		(72)発明者	吉丸 克彦 埼玉県上尾市原市1380－1 B－208
		(74)代理人	弁理士 山下 穰平

(54)【発明の名称】 導電性超微粉二酸化スズ及びその製造方法

(57)【要約】

【構成】 実質的に二酸化スズからなり、粒度分布におけるD<sub>90</sub>の粒径が0.01～5μmであり、比表面積が5～100m<sup>2</sup>/gであり、体積抵抗率が10<sup>-1</sup>～10<sup>4</sup>Ω・cmであり、且つドーパントを含有していない導電性超微粉二酸化スズ、及び第二スズ塩溶液と中和溶液とをそれぞれ別々に同時に反応槽に導入し、導入後直ちに両溶液を一緒に高速攪拌し、この際反応槽内をpH2～12の範囲内で所定の一定pH値に維持して沈殿物を析出させ、沈殿物を回収し、乾燥し、その後不活性又は弱還元性雰囲気中で焼成して導電性を付与することからなる導電性超微粉二酸化スズの製造方法。

【効果】 毒性が無く安全であり、アンチモンに起因するような青黒味が無く、それ自体透明性に優れており、着色剤を併用することにより任意の色調を得ることができる。